

# 夏の幼稚園を試みて

東京市京橋區鐵砲洲幼稚園 穂積篤子

當園で今度試みましたのは、夏の幼稚園と稱する程、纏まつたものではなく、お話申上げる様な事は  
ございませんが、お尋ねのまゝに概要を述べる事に致します。

動機と致しましては、昨年十一月末伊豆地方大震災に日本基督教聯盟主催の下に開かれました、葦山  
東京聯合婦人會託兒所に働きました経験から、當園も環境に依り、准託兒所向きに保育して見たいと云ふ、奉職當時の  
願ひから思ひ立ちました所、圖らずも麴町の番町幼稚園で、昨年の夏試みられた由を本誌で拜見致し、  
さうか意を強うしたわけでございます。

一、目的 幼稚園と家庭とをより以上に密接にする一手段として。

一、場所 鐵砲洲幼稚園

一、期間 七月二十八日より八月二十八日まで隔日に十五日間（他の夏の幼稚園參觀の爲め隔日  
す）

一、時間 午前八時より十一時三十分まで

一、遊び イ、特に運動を主としたる遊び

ロ、その他平常の幼稚園に於ける遊びの延長

ハ、園外保育

一、會費 徴收せず

一、其他 イ、出席園兒數

在籍數七十五名の中出席園兒六十一名、毎日平均三四十名

ロ、手技材料として呉服紙包紙其他廢物のみ用ふ。

ハ、雜費として約二圓負擔す。

ニ、身體検査の結果は七月下旬と比較して、身長も體重も他の月の發育に比して著しき増加を見る。

大體右の次第でございますが、御承知の通り、この四月に新設されました許りの多端な折から、園長が三度も變られ、其爲めに準備上にも支障を來たし、又外の保母達の都合で、私一人で致しました爲め、不行届の點が多々ありましたが、園兒の家庭の方々からも非常に喜ばれ、私のこの小さな努力も無駄ではなかつたと云ふ大きな喜びを感じて居ります。拙き筆をとりましたが、此の次の機會の爲めに、種々御批評下さいます様願上ます。